

白川郷の合掌造り



第24号
令和4年3月31日

発行 (一)世界遺産白川郷合掌造り保存財団
岐阜県大野郡白川村荻町
2495番地の3



この文章の依頼を受けた時には、何とも感慨深いものを感じました。と言いますのも、その昔、この財団ができる前に私は役場で担当の事務を

やっていたからです。せっかくなので、冷や水と言われぬ程度に四つほど思い出話でもしてみようと思

保存事業への運用開始があったのですが、運用委員会が決めることとはいえ、他にもあまり例のないこととで、かなり苦しんだことを覚えて

ました。山田さんのおかげで世界遺産記念式典を無事に済ませることができましたし、その後財団設立の立役者となられたことは、旧知の方が良くご存じのとおりです。

ある生きた遺産というのは、魅力が奥深いのです。たかだか五年仕事をした私

一つ。係に着任して最初の一年間は、上司の故大谷昭二さんに、それこそ伝建のイロ、ハから、町並み保存の何たるかを、みっちり教わりました。「妻籠に習え」とは、今もとても心に残る教えです。

二つ。財団の原資である合掌基金に関わる当時の大きな仕事として、基金利益金の

設立準備室に配属されてきたのが故山田講一さんです。私が役場に入った時の最初の上

見えないドラマを積み重ねた姿

宮丸和之 (一財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団副理事長

三つ。財団が出来るかどうか、岐阜県がお金を拠出してくれるかどうかの瀬戸際の会議に、夜中の十二時過ぎまで事務方として県庁に待機したこともありましたが、四つ。約五年勤めて他の課へ異動する直前に、新しい財団に、新しい財団の故山田講一さんです。私が役場に入った時の最初の上



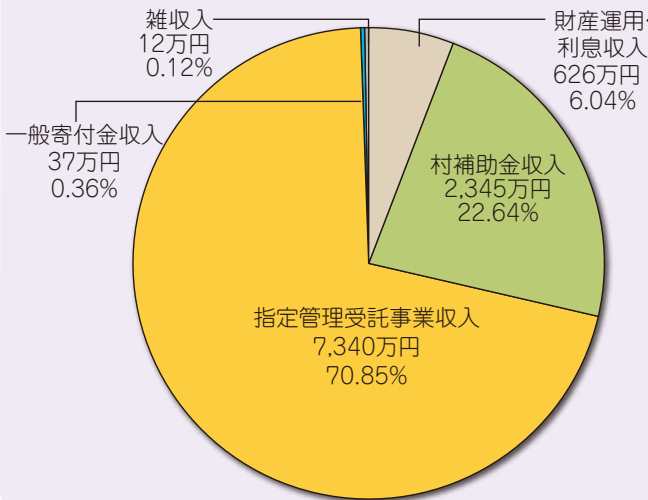
…一般財団法人世界遺産白川郷合掌造り保存財団…

令和3年度

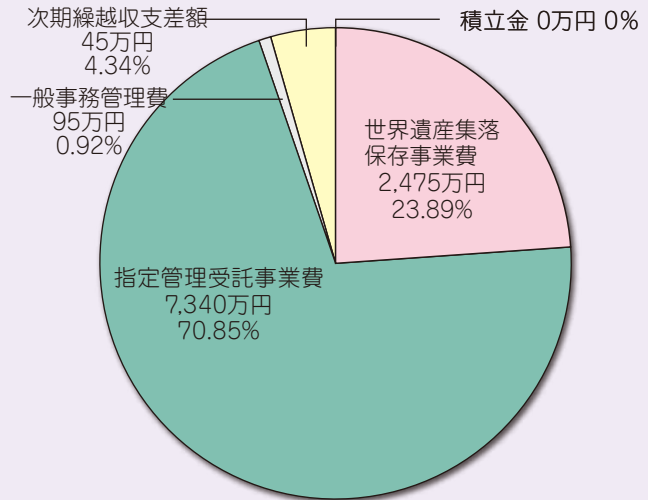
会計のあらまし

財団が、どのような収入を得て、どのように支出しているのか、令和3年度の会計状況をお伝えします。

歳入 1億360万円



歳出 1億360万円



令和3年度の主な事業

1. 修理事業	6,587,000円
差し茅	14棟 1,390,000円
伝統的建造物修理	4棟 1,429,000円
棟茅葺替	91/108棟 3,768,000円
トタン屋根葺替	0円
2. 修景事業	9,906,446円
修景協力費助成	9棟 3,548,800円
トタン屋根葺替	3棟 977,000円
ビニールシート指定色奨励事業	27枚 54,990円
一般建築物茅屋根補修 棟茅3 屋根葺替1	5,279,000円
オダレ助成	10枚 46,656円
3. 地域活性化事業	3,456,293円
自治保存会活動費助成	1,500,000円
自治保存会育成事業	0円
人材育成事業	50,933円
茅の自給率向上施策と調査研究	1,905,360円
4. 水田復旧事業	2,800,248円
復旧農地の維持管理・活用 水田63.10a、畑0.7a	2,800,248円
合計	22,749,987円

財源内訳

村補助金	22,500,000円
基金運用利息	249,987円
合計	22,749,987円

財団は世界遺産集落を保全し、後世に残していくための公益事業を行っており、主な経費は村営駐車場の受託費で賄われています。設立当初よりせせらぎ公園駐車場と付随する総合案内所の管理運営業務を行い、現在はみだしま農村公園駐車場・寺尾臨時駐車場を含め繁盛期の渋滞緩和にも努めています。

駐車場で徴収された駐車料金は村に収納され、駐車場や施設の維持管理費に当てられ、一部は管理受託費として財団の歳入となります。また、世界遺産地区の修理・修景助成、地域振興策等にも使われ、事業計画に応じ村から補助金として入ります。

令和3年度のせせらぎ・みだしま駐車場の総収入は、前年比の約1割増の9,660万円となるも、コロナウイルス感染症の影響により、感染拡大前の令和元年度と比較し約6割減となっています。受託事業費として7,340万円、集落整備事業及び運営費補助金として2,345万円を村からの収入とし事業を行いました。

基金は約7億330万円、令和3年度は626万円の財産運用利息収入となり、財団の貴重な財源として集落保存事業を中心に活用されています。

財団が保持している基金の現在額(令和3年3月)

基本財産	302,361,000円
特定資産	400,943,373円
合計	703,304,373円

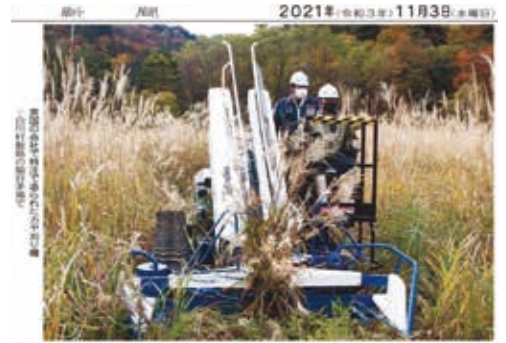
茅刈り機が完成しました！！

昨年の3月完成した茅刈り機がようやく村に納品されました。この茅刈り機は主に下記のような特徴があります。

- ・刈り残し茅を踏みつけないよう刈り取り刃部分が約1.7m幅とキャタピラ幅より広い。
- ・刈り取った茅を約30cm径で結束できる。
- ・結束した茅束が機械後ろ側へ送り込まれ後ろに排出される。
- ・刈り取り刃部分は上下動でき、刈高の調整可能。
- ・エンジンは日本社製のエンジンで国内メンテナンス可能。
- ・刈刃が破損した場合刃のみを交換できる。



昨年11月に早速白川郷茅屋根技術舎の職人さんにご協力いただき試験運行を実施し、機械刈りの効果を検証しました。結果、刈り取り時間2時間で0.2ha、10メの茅（機械茅30cm束で240束）を刈ることができました。1時間では5メ刈れていることになるので熟練の刈り手さんが刈る2.5日分の茅（熟練さんは2メ/日）を1時間で刈れる計算になります。仮に1日7時間刈り続ければ35メの量を刈れることになるため村が目標とする年間300メの量は1台のみで8～9日あれば刈り取ることができる計算です。今後の村の茅自給率向上に向け大きな前進です。



白川村が国内初導入

白川村最初の稲刈り現場で1日、英国から輸入した「カヤ刈り機」が、製造時に披露された。村によると、日本での導入は初めてだという。刈り取りを効率的に行うことで、合掌造り茅束に使われるカヤの、自給率アップを目指す。（松原浩希）

カヤ自給率向上へ 英国製刈り取り機

合掌造り保護へ 手作業より効率よく

やや回復も、まん延防止対策と緊急事態宣言で再減少

令和3年度のせせらぎ公園駐車場の利用台数は、普通車・大型車ともに昨年度より少し回復しました。しかし未だ続くコロナ禍の影響により特に大型車については、拡大前のような台数までは戻っていない現状です。

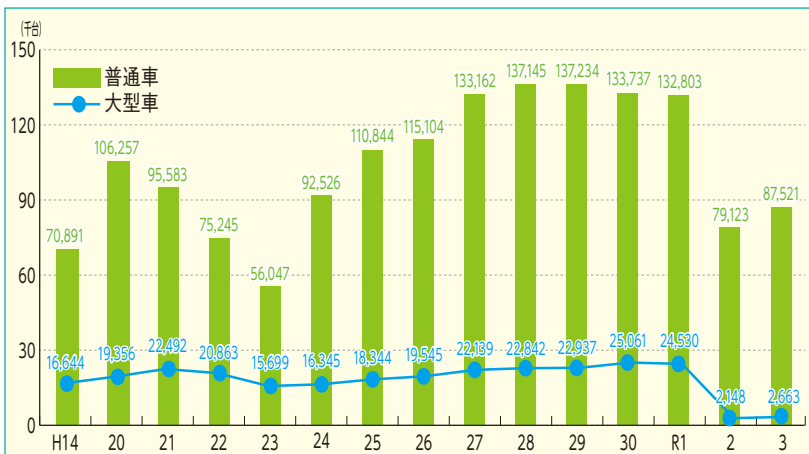
月別に見ていくと、普通車は感染が落ち着き緊急事態宣言も解除された11月はその月としては過去3番目に多い12,978台の利用となりました。その後、1月以降はまん延防止等重点措置や村独自の非常事態宣言が発出された影響、さらに2月に入ってからは積雪深が250cmを超えたこともあり、例年に比べて約2,000台減少しました。大型車についても11月に今年度最多の793台の利用があったものの、前述のとおり感染拡大前の利用台数にははるかに及ばない状況です。例年であれば春と秋に多く利用されるのですが、今年度はその時期にまん延防止や緊急事態宣言が発出されていたため特に4月～9月にかけては利用者が少なくなりました。

コロナ禍が収束し、以前のように多くの方に駐車場を利用していただける日常が戻ることを願うばかりです。

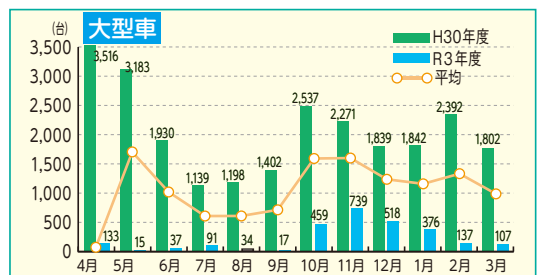
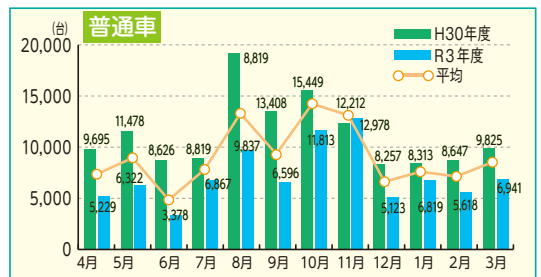
岐阜県のまん延防止等重点措置 緊急事態宣言発出時期

[R3]
【まん延】 5/9～6/20
【まん延】 8/20～8/26
【緊急】 8/27～9/30
[R4]
【まん延】 1/21～3/21

平成14・20年～令和3年度 せせらぎ公園小呂駐車場利用実績



過去5年間とH30・R3年度の月別平均比較



萩町集落の景観をまもるために...

水田復旧事業

平成16年度より萩町集落の景観を守ることを目的に、休耕田への田植えやさつまいも畑づくりを行っています。今年度も白川郷学園の児童の皆さんと畑作りや、田植え後に水田協力隊の皆さんに間差しを行っていただきました。



白川郷学園2年生とのさつまいもづくり

今年度は2年生12名の皆さんと一緒に作業をしました。

5月末...苗植え

最初に畑付近の水田の復旧前と現状を写真で見比べ、集落の景観保全について学びました。その後、約100本の苗を3列の畝に協力して植え、2人組になって手分けして水やりを行いました。大きく成長したたくさんのさつまいもが収穫できることを願い楽しみながら作業しました。



10月中旬...さつまいも掘り

児童の皆さんは伸びたつるを力いっぱい引き抜き、土が見えてくると一生懸命にさつまいもを掘りました。さつまいもを見つけると、もう大はしゃぎです。泥だらけになりながらも楽しく、全員で協力して大小様々なさつまいもをかご5個分収穫しました。収穫後はさつまいものつるでリース製作です。髪飾りやネックレスにしたり、リースを繋げて遊んだりして思い思いに楽しむことができました。

12/4の地域公開日にはお礼として、いもチップス（バターガーリック味）をいただきました。



水田協力隊の皆さん今年もありがとうございます！

今年も財団の田作りにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました！

財団が耕作している田んぼは機械が入らないところが多く手作業ばかりで大変ですが、毎年皆さんに頑張ってもらっているおかげでとても助かっています。これからもご協力よろしくをお願いします。



**田植え・稲刈りをお手伝いしたい方👏大募集中！！
ぜひ一緒にやりましょう！**

次世代の遺産保存につながる人づくり活動

であいの館屋根葺き替え見学

今年度、当財団の事務所があるであいの館の屋根葺き替えが行われ、2年生の皆さんが見学に来ました。葺き替えをしている白川郷かや屋根技術舎の職人さんからお話を聞き、熱心に勉強していました。



白川郷学園5年生の田づくりサポート

今年度も5年生の皆さんの田づくりをサポートしました。職員のアドバイスのもと、親子で協力し楽しみながら全工程を行いました。

田植えでは、保護者の方が田んぼに引いたラインに沿ってみんなで一列になって苗を植えました。ぬかるんだ田んぼに足を取られないように気を付けながら行いました。稲刈りでは、秋晴れの空のなか鎌で稲を刈りました。たわわに実った稲を丁寧に縛り2つの稲架いっぱいにかかけました。脱穀では、職員から機械の使い方を教わりながら、丁寧に稲の束を通し脱穀しました。もみ袋5袋程度を収穫することが出来、無事に今年度の田作りを終えました。



田植え



稲刈り



脱穀



白川郷学園畑への野菜苗助成

今年度はなすやメロン、ミニトマトなどの苗・種子代を助成しました。



いつまでも美しい景観と伝統を未来へつなぐため、これからも担い手づくり活動を積極的に行います！



ありがとうございます

募金で協力者一覧 (敬称略)

皆さまからいただきました合掌基金(募金)に心より御礼申し上げます。
ご協力いただきました皆さまをご紹介します。
ありがとうございました。

令和3年度

- 愛知県 伊藤睦子
- 岐阜県 株式会社三輪酒造
- 東京都 真田寛
- 岐阜県 山田昭男
- 兵庫県 西本喜久子
- 愛知県 大森國雄
- 和歌山県 石田真紀
- 滋賀県 株式会社文教スタジオ

竹筒募金

- 国重文 和田家
- ふる郷 長瀬家
- 神田家
- 県重文 明善寺
- 美然ゆめろむ館
- 合掌造り民家園
- トヨタ白川郷自然学校
- 民宿 十右工門
- 民宿 志みづ
- 民宿 のだにや
- 民宿 きどや
- 民宿 幸工門
- 民宿 利兵衛

- 民宿 かんじゃ
- 民宿 孫右工門
- 民宿 源作
- 民宿 伊三郎
- 民宿 大田屋
- お食事処 忠兵衛
- 心花洞
- 文化喫茶 郷愁
- 喫茶 狩人
- 結の郷
- いっぽく ちな
- 飛騨路
- 手打ちそば処 乃むら
- しらおぎ
- しあわせ屋 吉兵衛
- たなか屋
- ぜん
- 味処 ゆきんこ
- 白水園
- いろり
- 喫茶 さとう
- お食事処 天守閣
- ます園 文助
- 柊
- 合掌
- そば協本
- いさなみ
- 恵びす屋
- おいしんぼ
- かたりべ
- 白川郷ぶりの家
- 山楽堂
- おけさ
- 合掌庵
- ぜん助
- てづか民芸品店Neo
- 佐藤民芸品店
- 今藤商店
- こびき屋柿の木店
- こびき屋
- 古太神
- 元気な野菜館
- 道の駅白川郷
- 山里
- 鳩谷郵便局
- 白川村役場
- であいの館

現在店舗に合掌基金募金箱の設置がなく、設置希望の方や、募金箱の破損などありましたら当財団までご連絡ください。



世界遺産白川郷合掌集落保存基金にご理解とご協力を

合掌財団では、合掌造り集落の保存とその集落内の住民の暮らしを守るため、合掌家屋の修理や集落の修景などの景観保全に関わるさまざまな課題に対応し事業展開しております。
これらの事業は、基本財産から生じる運用益を活用して行っていますが、その運用益だけでは必要事業費にはるかに及ばない現状です。そのため、岐阜県の助成を得ながら緊縮した村会計から捻出して対処しています。今後、当財団に要請される

事業が、社会情勢の変化にともなっていますますます多様化し、一層責任が増大していくものと予想されます。
当財団が、このような課題にできるだけ的確に対処できる体制を整えることが、世界遺産合掌集落の保存に欠かせない条件です。この趣旨にご賛同いただき、皆様の温かいご支援、ご協力をお願いします。

基金に対するご寄付お送り先及び資料請求先

- 振替による場合**
- 郵便振替口座 00810-6-51954
 - 飛騨農業協同組合白川支店(普) 9203800

- 現金書留による場合及び資料請求先**
- 〒501-5627 岐阜県大野郡白川村荻町2495-3
(一財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団
TEL(05769)6-3111 FAX(05769)6-3113
☆インターネットでも受け付けています。
<http://shirakawa-go.org/zaidan/>

駐車場の入込は緊急事態宣言が解除されたと同時に、修学旅行バスなどが増え始め、普通車についても徐々にみだりな駐車を開けるほどの多くなりました。そのみだりな駐車は昨年8月頃に舗装整備され、12月末より普通車料金を1,000円にして供用開始しました。未だコロナウイルスの終息は見えないどころか新たな変異株への感染が拡大している日々ですが、マスクの着用や消毒等の感染症対策を自分自身も気を付けるとともに観光される方々も抜き取りなく行って散策してもらえたらと思います。

茅刈機が無事完成し、昨年9月末イギリスより村に到着しました。さすが海外で製作されただけあり、茅刈機の大きさにとっても驚きました。到着後、何度か業者さん等と実際に茅刈を行ったと聞きましたが、なかなか使いこなすのが大変だったというのでした。当面はその迫力ある茅刈機を乗りこなし、機械の活用方法などを試行錯誤しながら運用していくことが課題になってくるかと思えます。そして、ゆくゆくはこの茅刈機で茅の自給率が向上し、少しでも村の茅でできた茅屋根を見ることができればいいなと思います。

編集後記